

耐震・制震

壁補強

GDウォール工法

床・天井をそのままに壁補強ができ
工期短縮・費用低減も実現

「GDウォール工法（正式名称：グランデータ・ドラゴン・ウォール工法）」は、床や天井をそのままに壁補強ができる^{*1}のが特長。市販の構造用合板を使用でき^{*2}、施工には特殊な技術や工具も不要。付帯工事を削減することにより、工期短縮および費用の低減を可能とした。

上下隙間仕様、最大耐力 8.3kN/m^2 ^{*3}を実現している。

※1：天井の横が310mm以下の場合

※2：JAS規格12mm厚の2級1類または特類を使用

※3：大壁910タイプ・ビスピッチ100mmの場合

(一財) 日本建築防災協会

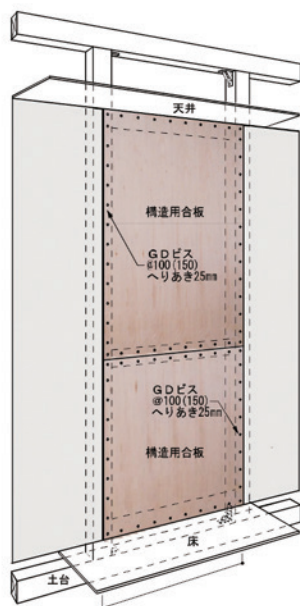
住宅等防災技術評価取得 (DPA-住技-62)

■適用範囲

- ・日本建築防災協会「木造住宅の耐震診断と補強方法」（2004年・2012年版）の適用が可能な専用住宅および併用住宅で、木造軸組工法・伝統工法および立面的混構造の木造部分
- ・延べ床面積 500m^2 以下、3階以下の建物

■適用条件

- ・壁の片面補強用（両面使用や壁裏面に上下隙間仕様の耐力壁がある場合は使用不可。ただし裏面の壁の耐力を非耐力化する場合はこの限りでない）
- ・室内側の壁補強用（風圧を受ける外壁側は使用不可）
- ・1階において、補強壁の直下に基礎があること（基礎新設の場合はこの限りでない）
- ・両端に柱があること
- ・上下隙間が以下の寸法に収まること
上隙間：310mm、下隙間：155mm
- ・柱サイズが105角以上または90角以上のこと
- ・壁の連続配置の制限条件を満足すること



GDウォール工法 構造図



施工完了

問い合わせ先

グランデータ株式会社 Tel.042-523-7800 <http://www.grandata.co.jp/>